

中央住宅

津田沼に子育て向けレジ

子ども日線の感染対策も

中央住宅（埼玉県越谷市、品川典久社長）は、「ルピシアコート津田沼」

（千葉県船橋市）の販売を開始した。同物件は、コロナ禍で



求められる新しい生活様式に 대응するため、「さわらない・もちこまない新発想で家族を守る」をテーマに開発したマンションで、子育て家族をターゲットとしている。

ニューノーマル対応として、エントランスから自宅まで「できるだけ触れずに帰宅できる」ノンタッチにこだわった。ただいま動線」を導入。具体的には、ハンズフリーの非接触キーシステムのエントランス、手洗い後に除菌水も流れる共用部のタッチレス手洗いスペース（大人用・子供用）、

ハンズフリーキーで触れずに荷物の受取が可能。宅配ロッカー、手をかさすだけで呼び出しや行先階の選択ができるエレベーター、ノンタッチの自動ドアを設置したごみ置き場などを採用。

子育て対応として、「イタレリツクセリなレジデンス」「津田沼イクレシ宣言」をキーワードに、子育てや子どもの成長に配慮した仕様としている。具体的には、リビングや洋室にも目が届くよう住戸中心部に設置されたヒアキッチンからは家事の手を止めることな

く、子どもを安心して見守ることができる。子どもサイズにこだわった「できるサイズ」は、

自転車置き場・手洗い場
・ドアスコップ・チャイルドミラーなどを子どもの背丈や目線に合わせた仕様としている。事故から子どもを守る配慮として、機械式駐車場に外からロックできる子どもの待機場所「車の出し入れまもるんスペース」も2カ所用意した。

同物件は、総武線快速
・中央線総武線各駅停車の津田沼駅徒歩12分、鉄筋コンクリート構造地上7階建て。総戸数53戸で間取りは3LDK（68〜71平方メートル）。販売価格は3900万円台から、入居開始は6月中旬を予定している。